来賓の方々へ学習成果を発表する様子

学習成果発表会

２月５日、富川高校において、令和５年度北海道富川高等学校学習成果発表会が行われ、「総合的な探究の時間」における１年間の探究活動をまとめた学習成果を報告しました。

各学年で取り組んだ様々な探究活動の成果が発表され、富川高校が掲げる教育目標である「目標に向かって挑戦する、強くしなやかな心を持った人を育む」のとおり生徒が成長する良い機会となりました。

教育実践表彰を受賞

２月２０日、日高高校において令和５年度日高管内教育実践表彰式が行われ、日高高校のスクールカウンセラーである土井敦子さんが表彰されました。

平成２０年度から日高高校でスクールカウンセラーを務められ、親元を離れて暮らす生徒へのカウンセリングによる育成と心のケアによる功績に対する表彰で、土井さんは、「生徒の成長を身近に感じ、見守っていくことで、私の学びと成長につながり、今まで続けていくことが出来ました」と話されていました。

土井さん（中央右）に表彰状が渡されました

交通安全関係団体に感謝状が贈呈されました

交通事故死ゼロ１０００日達成

２月２２日、門別公民館において、日高町交通事故死ゼロ１０００日達成に対する感謝状贈呈式が行われ、生田日高振興局長及び伊藤門別警察署長より、町交通安全関係団体へ感謝状が贈呈されました。

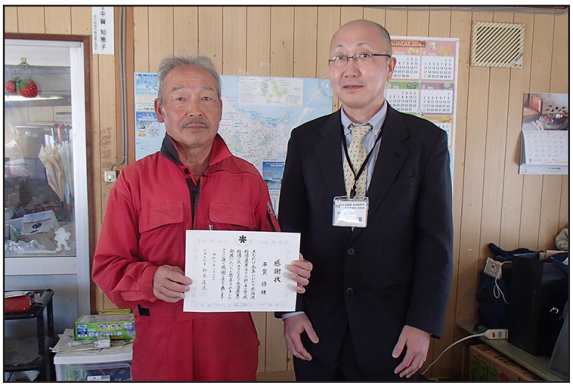
令和３年５月２０日から令和６年２月１４日の１０００日間、町内では死亡事故がなく、大鷹町長は「町民と協力団体が地道な活動を続けてきたおかげであり、今後もさらに交通事故死ゼロを目指して頑張っていきたい」と気持ちを新たにしました。

ありがとうフェスティバル

２月２５日、日高国際スキー場において、スキー場フェスティバル実行委員会主催のスキーシーズン終盤の定番イベント「ありがとうフェスティバル」が開催されました。

町特産品が当たる抽選会やスノーラフティング無料体験、中学生以上を対象とした豪華景品が当たる米袋ソリレースが行われ、会場には町内外からもたくさんの来場者が訪れ、各種イベントを楽しみました。

抽選会は長蛇の列ができていました



平賀さん（左）に感謝状が伝達されました

北海道指導農業士

２月２８日､北海道指導農業士である平賀修さん(字平賀）に北海道知事より感謝状が贈呈されました。

指導農業士とは、優れた農業経営を行いながら、新規就農者等の育成に指導的役割を果たしている農業者が知事から認定されるもので、地域農業の振興に関する活動を行っています。

農業のさらなる発展のため、新規就農者の育成・確保、技術指導など今後一層の活躍が期待されます。

道内初の高校生審判員

静内高校女子バレーボール部３年生の遠山桜さん（緑町）が日本バレーボール協会が公認するＢ級審判の資格を最年少で取得しました。

同協会の公認審判員の資格には、Ａ、Ｂ、Ｃの各級があり、Ｂ級はＶリーグ以外の国内大会の主審、副審を務められるものであり、昨年１０月に資格取得の審査講習会で見事に合格しました。

２月２日から４日に苫小牧市で行われた、北海道高等学校バレーボール新人大会で公式戦デビューを果たしました。

北海道ふるさと応援Ｈ（英知）プログラムに図書館事業が採択！

２月２８日、役場町長室において、エア・ウォーター北海道株式会社が実施している寄附事業の北海道ふるさと応援Ｈ（英知）プログラムに町の図書館事業が採択され、庫元事業連携部長より交付証書が手渡されました。

この寄附事業は、道内全市町村を対象とする寄附支援制度として創設され、寄附を通じて社会問題の解決に取り組む市町村を応援するプログラムです。

当町は、子どもたちの学ぶ意欲と、豊かな自然環境への興味の高まりを目的とした「見てみよう！調べてみよう！自然観察キットと図書貸出事業」において寄附をいただきました。

深根副町長は「寄附金で導入する自然観察キット等で、子どもたちの調べる･学ぶ意欲を高め、また、身近な自然や地球環境に興味を持ってもらえる図書を選定し、自然環境の保全や生物の生態などに対する意識が高まるよう有効に利用させてもらいます」と感謝の気持ちを述べました。